

【数学科】

1 数学科の目標

数学的活動を通して、数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則についての理解を深め、数学的な表現や処理の仕方を習得し、事象を数理的に考察し表現する能力を高めるとともに、数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、それらを活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てる。

2 学習の進め方

☆授業では…

- 授業に集中し、先生の説明や友達の意見をしっかり聞き、今日学習したことは今日理解するようにする。
 - ・わからないことをそのままにしないで、先生・友だちに質問する。
- 自ら進んで調べたり問題に取り組んだりし、自分の考えを積極的に発表する。その際、答えを出すまでの考え方を大切に。
 - ・ものごとの関係やきまりを見つける。
 - ・見通しを持って答えを予想する。
 - ・筋道を立てて表現する。
 - ・人の考え方と比較する。

☆家庭学習では…

- 日常
復習（宿題）を必ずやる。
授業で理解したことをしっかり身につけるために、とても大切。
反復練習を行うことで、確実に力になり、数学の技能を高め、考え方が身に付く。分からない所があったら、次の日に質問に行く。
- テスト1週間前
 - 1日目…授業のノートを見て要点を別のノートに書きだす。特に公式や定理などは使い方だけでなく、どうしてその公式や定理が成立するかをわかるようにしておくことが大切。
 - 2日目
 - 3日目…基本問題を解く。間違え問題をノートに書き出す（問題だけ）。
 - 4日目…昨日と一昨日の間違った問題をもう一度解く。
 - 5日目…発展・応用問題を解く。間違えた問題はノートに書き出す（問題だけ）。
 - 6日目…昨日間違えた問題をもう一度やる。
 - 7日目…練習問題で間違いの少なかった人は別の問題を解く。間違いの多かった人は再度間違ったところを解いてみる。

※自分の能力に合わせて数学の得意な人は基本問題を少なく、発展問題を多く取り組む。

3 評価の観点と評価方法

①【数学への関心・意欲・態度】

・数学的事象に関心を持ち、それを意欲的に考えたり、調べたりすることができるかどうか、授業中の様子、ノートや課題の提出などで総合的に評価します。

②【数学的な思考・判断・表現】

・数学のよさを感じ、見通しを持って論理的に考えたり、適切に判断しているかどうか、授業中の様子、ペーパーテストなどから評価します。

③【問題解決への技能】

・数と式の計算ができたり、数量関係や図形の性質を用いて問題解決ができるかどうか、授業中の様子、ペーパーテスト、課題の提出などから評価します。

④【数量や図形などについての知識・理解】

・数量関係や図形などの基本的な性質を理解し、知識を身につけているかどうか、授業中の様子、ペーパーテストを中心に評価します。